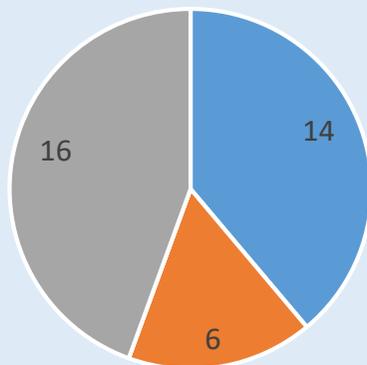


# 地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

# 事前アンケートの主な意見（区西北部）

## 地域医療連携システムの導入状況



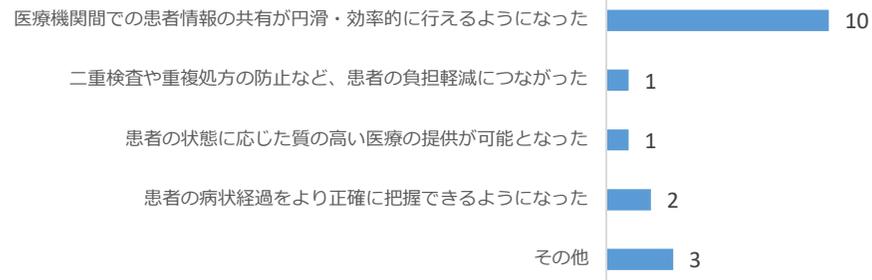
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

## 病院としての主な機能別の導入状況

病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	2	2
急性期/サブアキュート	12	4
回復期/ポストアキュート	1	0
慢性期	7	1
ケアミックス（急性期・回復期）	2	1
ケアミックス（回復期・慢性期）	6	3
その他	6	3
計	36	14

## ■ 導入済みの病院の回答

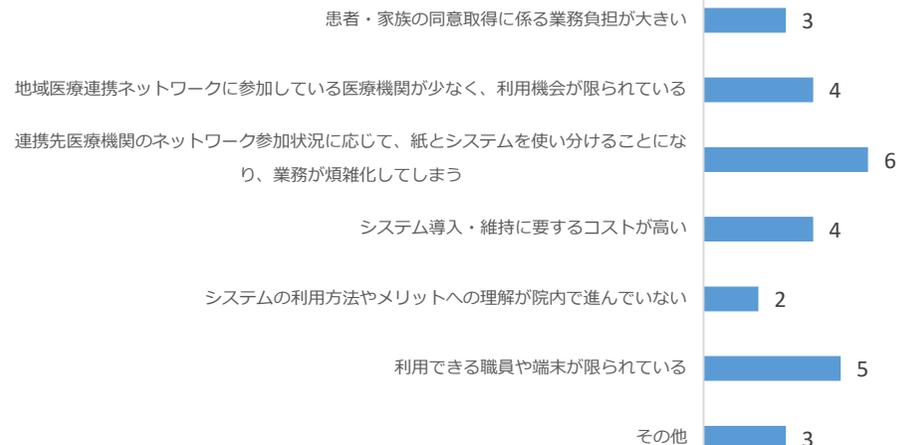
### システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



その他

- ・初期情報の取得が早くなった
- ・紹介元、逆紹介先のデータ作成に役立っている

### 導入や運用面での課題（複数回答可）



その他

- ・①連携先のシステム管理の組織体制等によりサポート場面が多くなり、負担が増加する②紹介状などもデジタル化したいが、HPKIや認識の違いもあり進まない

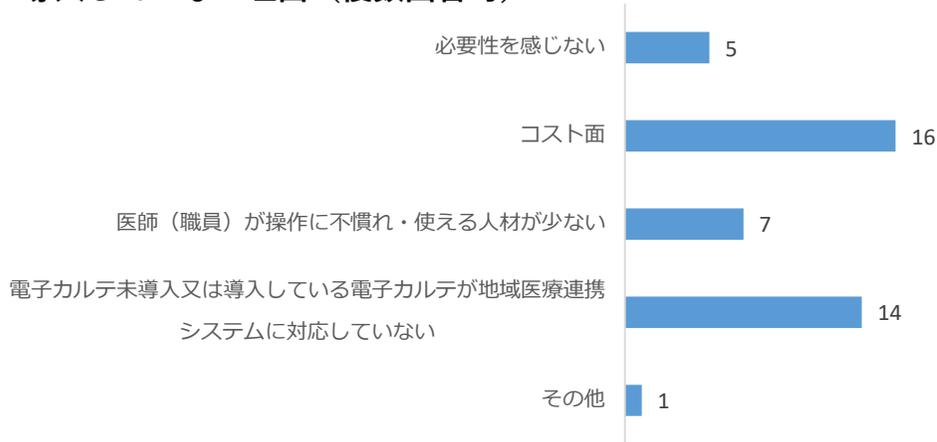
# 事前アンケートの主な意見（区西北部）

## ■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

### 医療連携の際にどのような手段を用いているか

- ・ 診療情報提供書のFAX、メール送付
- ・ 電話
- ・ 入退院支援システム「わんコネ」
- ・ ケアブック
- ・ Zoomでのカンファレンス

### 導入していない理由（複数回答可）



### どのような点が改善されれば導入するか

- ・ 補助金申請が容易であり簡便であると申請を検討しやすい。
- ・ 導入医療機関の増加、セキュリティに関する情報による信頼性向上
- ・ 電子カルテとシステムのコスト
- ・ 電子カルテ導入後に連携システムの導入を進める。
- ・ システムが標準化されれば、導入する医療機関も増えるので、検討したい。
- ・ 導入コストやランニングコストを補えれば検討可能
- ・ 経営者の理解とコスト面
- ・ 地域医療連携システムに対応する電子カルテメーカーが増えて、当院の電子カルテメーカーも対応可能になれば導入したい。
- ・ 職員の医療情報の電子化に対する前向きな意識改革が必要
- ・ 導入費用の補助があれば導入したい。

## ■ DXを活用した地域医療連携の理想的な姿

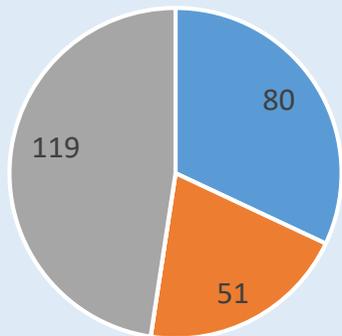
- ・ 電子カルテの共有、デジタル処方箋、ICTを活用した診療がしっかりとコストを取れる仕組みになれば理想
- ・ 電子保険証の国民への普及と個人情報保護に関する信頼性、情報事故に関する補償制度の透明化などが担保されることにより、国民が安心してシステムを活用できる。
- ・ 連携医療機関が同一医療機関のようにアクセスが簡便になる
- ・ 病病間や病診間だけでなく、介護事業者（特に在宅サービス）とも情報を共有できる状況。
- ・ 介護事業者が十分な医療情報を把握する事は困難なので、不十分な情報の中でどのように医療がバックアップ出来るかがポイントになると思う。
- ・ 1次的にはデジタル情報で連携をしながらも、患者個々の病状のほか、病歴や個性、または生活環境、社会環境などなどの情報についてはDXだけに頼らない、有線電話での連携なども全体として連携を行うことが必要。
- ・ 医療DX導入をきっかけに作業フローを明確にして運用の効率化を行うことが望ましい。効率化するにしても医療の質と医療安全の向上を実現させる為にもセキュリティの担保されたクラウドシステムを利用した施設間の連携は必要。

## ■ 地域医療構想に関する意見

- ・ 病状だけでなく、家族や地域のサポート力、経済状況なども含めた支援が必要な方も多い。地域包括支援センターとの連携も重要。
- ・ 一般科に特化する地域医療連携なのか、精神科領域も含めたものとして構築するのか。精神科領域を取り込むのであれば、精神科入院における入院形態、これに伴う保護者等の医療同意者など入院形態全体に関することを一般科病院側も理解してほしい。
- ・ 障害児者の転院先や移行先サービスを探す際、個別性の高い医療情報や家族の関わりについて電話等で伝える難しさやマッチングの難しさも感じており、また、初診の予約管理やトリアージ、地域医療機関との連携も電話で対応しており、情報の管理に課題を感じている。システム導入があると便利だと思う反面、利便性よりコスト負担やセキュリティーの課題などが上回り、実用化に至らない。
- ・ また、小児の場合には医療だけでなく、教育や福祉とも連携が必須であるが取り残されている現状がある。医ケア児のインクルーシブも課題になっているので、医療情報が幅広く共有されることの需要があると思う。
- ・ 様々なシステムがある中、導入することで却って煩雑化しないか懸念される。しかし、これからは医療DXを活用した地域連携の形をつくっていくことが求められるので、様々な後押しがあるとありがたい。

# 事前アンケートの主な意見（都全域）

## 地域医療連携システムの導入状況



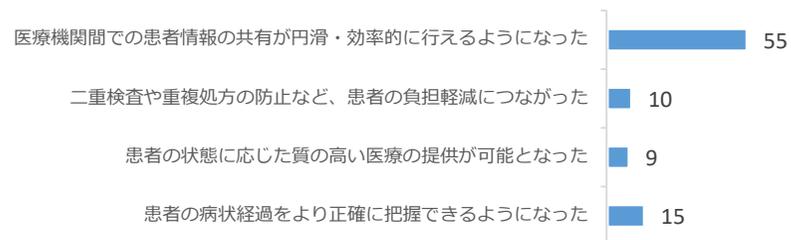
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

## 病院としての主な機能別の導入状況

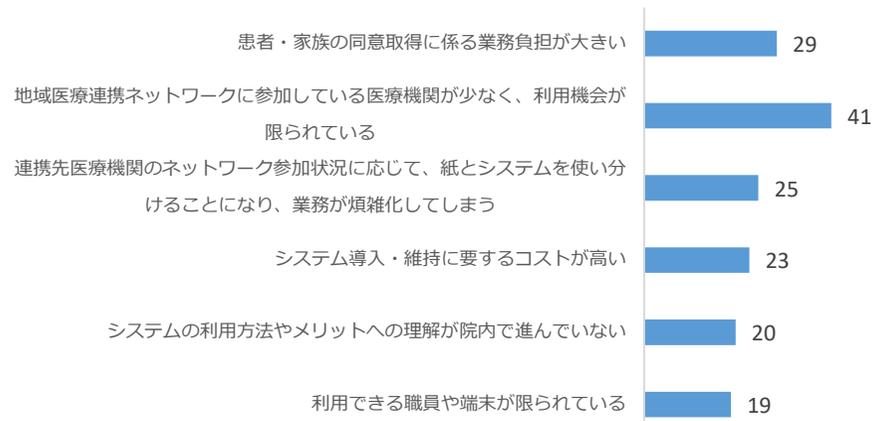
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	36	19
急性期/サブアキュート	79	27
回復期/ポストアキュート	15	4
慢性期	34	6
ケアミックス（急性期・回復期）	33	13
ケアミックス（回復期・慢性期）	18	6
その他	35	5
計	250	80

## ■ 導入済みの病院の回答

### システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



### 導入や運用面での課題（複数回答可）



## ■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

### 導入していない理由（複数回答可）

